



シルバー通信

第 46 号 平成 27 年度(28)

発行：大阪府シルバーアドバイザー連絡協議会

連絡先（理事長宅）：

〒565-0821 吹田市山田東 1-31 A618

FAX： 06-6877-1509

ホームページ URL <http://sa-renkyo.sakura.ne.jp>

「理事長あいさつ」



府SA連協 理事長 笹原 義正 (SA吹田 平成 22 年)

今年度は 2 年目を迎えます。昨年度に取り組んだことは府 SA 連協の基本は「各地区 SA への寄与」であり、それに取り組もうということでした。

具体的には

1. 各地区 SA の実情把握からスタートしようと、アンケートを実施したこと。
それにより、高齢化と入会者の減少が大きな課題となっていたことが判明しました。
それを踏まえて
2. 理事会では府 SA 連協及び各地区 SA の課題についての審議時間を増やし、従来の報告事項を減らす取り組みをしました。しかしながら各地区 SA の課題に対しての府 SA 連協の寄与度は十分とは言えません。今年も真剣且つ効果の出るように取り組みたいです。

次に、SA 東大阪は会員が減り実質二人となり実質解散となりました。また、ほとんど活動がなされていない地区 SA もあるようです。これらは他人ごとではなく大きな問題であり、役員だけではなく地区 SA の皆様には明日は我が身として、どうすれば維持発展できるのか考えてみてください。

その解決策の一つが、府 SA 連協を活用することです。府 SA 連協の中には会員を増やしている地区 SA が多数あります。その具体例を聞き出し、自分たちの地区 SA に利用しては如何でしょうか。

地区 SA の会員の皆様方は「府 SA 連協はなにをしているのか」理解されていない方が多いと思われる。せつかく、地区 SA の貴重な会費の中から一人当たり 200 円を府 SA 連協に納付されているのです。

地区 SA の会員の方々は、府 SA 連協をもっと

理解され、府 SA 連協を活用することを考えてください。

例えば、

- ① 「地区 SA の維持発展や活性化」の情報をその都度理事の方に報告を求め、自分たちの地区 SA でも取り組んでみる。
- ② 魅力的なボランティアがあれば同じく自分たちの地区 SA に取り入れてみる。
- ③ ひとつの地区 SA では実施困難でも、数か所の地区 SA 合同で取り組めば可能なボランティアもあるかもしれません。

等々活用する方法はいくらでもあると思います。

府 SA 連協は地区 SA が元気になるように作られた連絡協議会です。その為にも府 SA 連協が活性化しなければならないので皆様方のご理解とご支援を切にお願い申し上げます。

事務局**「平成 27 年度活動報告」**

事務局長 森田 一夫 (SA とよなか 平成 18 年)

三年間に亘り事務局長を努めさせて頂きましたが、皆さまのご協力により至らぬながらも任務を終えられましたことに厚くお礼を申し上げます。

27年度の活動については、各部から報告されますので、事務局長として感じたことを述べさせていただきます。

1. 組織改正をしてみても

従前の3委員会から3部体制に会則を変更したが、その効果はどうであったか。

福祉IT部会、都市環境部会を対外活動が多いことから渉外部所管としたが、この2部会は、独立して動ける体制となつて、敢えて部所管とする必要のないものに育っていると見られた。

企画委員会は、歌体操とおもちゃ事業の具体化を企画するのが主だったので、交流活動部に変更した際に、「連協としての企画は、役員会で担当する。」としていたが、具体的に取る余裕がなかった。新たな負担とならない企画をどう練っていくのかが役員会の課題となった。

支援活動部を支援活動部会とし、部会長は任期制限のないポストにした。助成金の獲得は活動維持のために重要な任務であるが、特定の方に荷を押し付けることのないように後継者の育成も急がねばならない課題である。

2. 役員選任の難しさ

府SA連協の役員を選任するに際しては、ブロック別に候補を推薦して頂き、候補者間の互選により決定する方式が定着してきている。互選にあたっては、中枢ポストである理事長と事務局長は、別のブロックから選ぶことが望ましいとされながら、28年度も引き続き北ブロックからになってしまった。これには、地区会員数が50名以上が北の高槻・茨木・吹田・豊中の4地区に対して、中は大阪市、南は堺の1地区しかないことが影響しているかと思われるが、過去には島本、東大阪、交野、池田といった会員数の少ない地区から理事長が選任されていたことがある。来期は、是非とも、バランスのとれた形になることを望みたい。

3. 連協の役割とは

理事長あいさつにあるように、連協は地区SAの活性化に寄与することが役割の一つであるが地区の求めが様々であり、個別に伝えられていないのが実情である。

共通のニーズとして歌体操の技能向上、おもちゃのレパトリーの増などへの事業は行っているが、それ以外はないのではなかろうか。27年に行ったアンケートの回答には、理事会に行くといふ余分な仕事を引き受けて帰ってくるので迷惑しているともあった。

地区SAにおいてもSA養成講座があった頃は、各自がボランティアを志し、地区SAはそのボランティアの集合体であることで良かったのに、今やボランティアを志すなら地区SAに先ず入ってくださいとしたものの、受け入れた新会員のフォローができず、居場所を見つけられずに退会していくケースが多いのではなかろうか。

高大受講生とのアンケートでも、地区SAがどんな活動をしているのか知りたいが多かった。

私は、連協が個別の地区SAに寄与するということが難しく、地区SAにおいて多様化した活動の中に会員の居場所を見つけられる工夫と努力を行うことが第一で、それを連協の事業の中から補完することで、それ以上のものを求めるのは難しいのではと考える。

部門活動報告

渉外部

「平成 27 年度活動報告」

渉外部長 松田 嘉威 (SA はびきの 平成 19 年)

平成 27 年度より、渉外委員会から、渉外部と改め、対外折衝部会、福祉 IT 部会、都市環境部会の 3 部体制にてスタートしました。

「対外折衝部会」

1、行政機関や外部団体と積極的に交流を図り、府 SA 連協の PR を行う。

高大、交友会、ONCC、区民カレッジ、アクテヴシニア協会に参画し、交流を図りながら、修了生に入会を促進する。

・担当～高大交友会、(松田)。ONCC、(島貫)。区民カレッジ(新鞍)。アクティブシニア協会(笹原他)。

① 6 月 30 日、高大スポーツ交流会打ち合わせ、

② 8 月 29 日、夏の音楽祭、～エル大阪、11 人鑑賞参加。

③ 9 月 26 日(土曜日)大阪マラソンリーダー—会議、

④ 10 月 25 日(日)、第 5 回大阪マラソン、御堂筋給水ポイント、30 人参加。

⑤ 10 月 7 日(水)、高大スポーツ交流大会、エリオンアリーナ(府立体育会館)警備担当、体力測定、3 種スポーツ参加、10 人

⑧ 12 月 18 日(金)、高大祭、吹田メイシアター、パネル展参加。

⑨ 28 年 3 月 2 日(水)、アクティブシニアフェスタ 2016、～北区民センター。パネル展、歌体操、福祉 IT 出品。

⑩ 平成 28 年 2 月 22 日、高大冬の音楽祭～京橋、すばるホール、～11 人鑑賞参加。

2、高大学生との交流会、

① 10 月 22 日(木)子ども科学コース、小川講師他、

② 11 月 9 日(月)国際文化コース、島貫講師他、

③ 11 月 11 日(水)V 養成コース、新鞍講師他、

・3 コース共、笹原理事長の、府 SA 連協の概況説明の後、トータル 1 時間講演。

④ 3 月 7 日高大成果発表会、～各入会促進、PR

・国際交流～4 人。3 月 9 日、V 養成、～11 人。3 月 10 日、子ども科学～1 人。

※平成 27 年、第 7 期生 99 人＝(子ども 42 人、国際 39 人、V 養成 18 人)

・在籍住所、～大阪市、31 人、吹田市 12 人、枚方、高槻 5 人、豊中 4 人、みのお、摂津、寝屋川、八尾、藤井寺、守口、3 人。堺、東大阪、大東、2 人。松原、和泉、岸和田、茨木、羽曳野、片野、南河内、1 人、府外 7 人。

3、行政機関との交流

⑤ 12 月 22 日(火)、大阪府庁別館、高齢介護課、植木課長ほか 2 名、同席。当方、笹原理事長、島貫特命担当、渉外部長(松田)～3 名訪問。

・行政の考え方、方向等、府 SA 連協の在り方の意見交換等、

・大阪府窓口、植澤副主査、～5 月ごろ、理事会に招へいの予定。

「福祉 IT 部会」、「都市環境部会」は別紙報告。

交流活動部

「平成 27 年度活動報告」

交流活動部長 木場 昭和子（大阪市 SA 連協 平成 18 年）

従前の企画委員会を交流活動部と改め、歌体操部会、おもちゃ部会並びに支援活動部会の 3 部会校正となった。この 3 部会を活性化していくことが、大阪府 SA 連協の活性化にもつながると言う思いで、取り組んで行くことにした。

1. 歌体操部会は、毎月 1 回第 4 月曜日 10:00～12:00 まで部会を開催した。

その際ブロック別に当番を決め、参加者に実技を披露して、それを全員で練習することで、初めての体操も覚えることが出来、勉強になった。また年 1 回ブロック別（北・中・南）交流会を開催し、メンバー相互の交流にも役立てることが出来た。1 年間の集大成として、3 月 17 日（木）に SA 連協歌体操フェスタ 2016 を開催した。大阪府内全域から 416 名の方にお越しいただき盛会であった。アクティブシニアフェスタにも SA 連協歌体操部会として出演して花を添えることが出来た。



「歌体操部会練習風景」

2. おもちゃ部会は、隔月 1 回偶数月の第 2（火）年 6 回開催した。1 人 200 円の協力金を徴収。年 1 回ブロック（北・中・南）交流会を開催し各地区の交流を図ることが出来た。ATC のイベント「親と子どものおもちゃフェスタ」に参加した。中ブロック 11 月 2 日（月）、北ブロック・南ブロック 11 月 3 日（火）の 2 日いずれも盛会であった。



「大阪府 SA 連協歌体操フェスタ 2016 風景」

3. 支援活動部会は、歌体操活動を継続させ、更には発展させて行くために必要な次期リーダーの育成と、歌体操ボランティアのスキルアップ、高齢者施設への訪問活動の活性化に取り組んできた。毎月 1 回第 2 木曜日（13:30～15:30）に開催される中央研修会では、3 ヶ月に 1 回外部講師の指導を受けている。その後を支援活動部会の専任講師がフォローアップをして地区研修会に繋げて行く。各イベント等で新曲の歌体操を発表出来るのも楽しみの 1 つと言える。



「おもちゃ部会開催風景」

広報部**「平成 27 年度活動報告」**

広報部長 織田 武文（堺 SA 平成 23 年）

【活動目的】

- ・府 S A 連協と地区 S A の架け橋となる広報活動を目指す。
- ・地域での S A 活動の知名度（認知度）の向上を目指す。
- ・広域活動、助成金情報のホームページ、ブログなどによる共有化を図る。

【活動報告】

1. 広報誌「シルバー通信」を 7 月に発行し、活動報告、活動計画を掲載して年次報告を行った。
2. ブログの更新が頻繁になり、日常の活動予定や諸活動報告が掲載され、充実してきた。
3. 校友会共同機関誌「れいんぼー・絆」の発行が 7 月で廃止となり、以降は高齢者大学校機関誌に寄稿することとなった。
4. 連協の活動を紹介する P R チラシの改訂を行った。諸イベントにおいて積極的に活用した。
5. ホームページのリニューアルは未完成となった。

広報誌部会 （部会員 4 人）

1. 高齢者大学校校友会共同機関紙「れいんぼー・絆」7 月号で廃刊とされた。
それに代わって、高大機関誌「れいんぼー」に寄稿した。
 2. 府 S A 連協広報誌「シルバー通信」の発行。
年 1 回の発行とし、前年度の活動報告と新年度の活動計画を掲載する編集方針のもとに、新体制が固まった 6 月に発行した。
 3. 外部関連団体イベントに参加しての P R を行った。
大阪府高齢者大学校の「高大祭」、「アクティブシニアフェスタ 2 0 1 6」でパネル展示と地区 S A の P R チラシの配布を行った。また、高大 S A コースの学習成果発表会では、府 S A 連協 チラシを配布し、地区の活動を紹介するなど行った。
- ・府 S A 連協に直接入会されるのではなく、地区 S A への入会勧誘が第一となるのであるから地区 S A の P R チラシ作成が推進されることが必要である。

ブログ研究部会

ブログの活動紹介は、各地区の努力によって頻繁に、そして見易く提供することができた。

1. 2 7 年度は、部会を全日開催することができて、スキル向上とともに記事の内容改善にまで取り組むことができた。
2. 年度後半より初心者向けの講習を取り入れて、ブログ担当者の拡充に努めた。

ホームページ管理部会 （理事長、広報部長）

1. 各地区 S A のホームページ（地区概要）の刷新は、ページフォーマットを共通にすべく随時行ったが、未だ一部更新作業が滞っている。
2. 府 S A 連協の情報の交差点を目指したホームページのリニューアルについては、プロトタイプを試作にとどまった。
3. 理事会、部門会ならびに各部会の議事録は、随時更新を実施した。

部会活動報告

歌体操部会

「27 年 度歌体操部会報告」

歌体操部会長 藤川 安高 (SA 吹田 平成 19 年)

部会の歌体操は中央研修会での技術習得と毎月部会の会議の後、ブロック毎の実技の研修を行っている。各地域の施設での座位実技も動作が増えだんだんと向上してきた。

ブロック交流活動(北・中・南)では地域の交流会も段々と賑やかに実施出来るようになり、各ブロック内の交流を図り親睦を深めることが出来てきた。

1.歌体操部会の主な活動

①歌体操部会 (定例会)

4 月から月 1 回 10:00~12:00 に開催し、前半 1 時間を会議、後半を研修に充てて部会員の情報交換・研修会を実施。年に 1 回各ブロック交流会と歌体操フェスタを行っている。

②昨年度地区別ブロック交流会の活動内容 参加者 (3 ブロック) 計 397 名

- ・南ブロック ◎参加者(161 名) 26 年 12 月 4 日 (金) 13:45~16:30 (和泉市人権文化センター)
- ・中ブロック ◎参加者(73 名) 26 年 10 月 28 日(水) 13:00~15:30 (守口市立中央公民館 5 階)
- ・北ブロック ◎参加者(163 名) 26 年 11 月 17 日(火)13:30~16:00 (茨木市市民会館ドリームホール)

③歌体操フェスタ 2016 ◎参加者(416 名) 28 年 3 月 17 日(木) 11:00~16:10 (高槻市現代劇場)

2.今後の課題

歌体操を地区に広めて行くためには、新旧の会員の交流を密にして、実技の向上を図り、歌体操を理解し、協力をもらう必要が欠かせない。ブロック交流会およびフェスタを開催する場合、参加が増えるにつれて会場費用の安価で広い場所を要望される。特定の地区 S A の参加だけでなく他の参加のない S A への普及も必要である。



歌体操部会研修風景



歌体操フェスタ 2016
高槻市現代劇場中ホール



南ブロック交流会
和泉市人権文化センター



中央研修会研修風景



中ブロック交流会
守口市立中央公民館 5 階



北ブロック交流会
茨木市市民会館ドリームホー

おもちゃ部会

「27 年度 おもちゃ部会報告」

おもちゃ部会長 島田 道子 (SA 守口 平成 14 年)

おもちゃ部会の活動は、会を重ねるたびに活発化し、毎回 部会員も増えてきている。ブロック別のおもちゃ交流会も各ブロックで特色ある研修会になっている。

1. 毎月 1 回実施することをおもちゃ部会で検討した結果、従来通り偶数月に 1 回が適当であると決定。奇数月は SA ネット・大阪の「おもちゃ教室」に希望者は参加することとした。
2. おもちゃ部会の開催状況は、次のとおり。

- ①：会場 大阪社会福祉指導センター 地下 1 階
- ②：開催 おもちゃ部会 偶数月第 2 火曜日 1：30～3：30
- ③：副部会長 書記 会計を各ブロック代表で決定
- ④：講師：ブロック (南 中 北) ごとに交代で講師
- ⑤：会費：1 回 200 円 徴収

月 日	作 品	講 師	参加人数
1 6 月 10 日	扇子 (牛乳パックと和紙)	SA 守口 島田道子	1 5
2 8 月 11 日	玉入れゲーム	SA 八尾・柏原 井上勝	1 4
3 10 月 6 日	5 段組み風車	SA 河内長野 小柴好子	1 7
4 12 月 1 日	凧 (牛乳パックと和紙)	SA 守口 島田道子	1 8
5 2 月 2 日	ラップカー	SA 八尾・柏原 井上勝	1 8
6 4 月 12 日	ストローの回る糸	SA 高槻 三橋与作	1 6
	色の消えるぶんぶんごま	SA 河内長野 小柴好子	
	ペットボトルのキャップ使用のぶんぶんごま	SA 大阪 木場 昭和子	



中ブロック研修会



作品：ラップカー



作品：5 段組み風車



南ブロック研修会

福祉 I T 部会

「27 年度 福祉 I T 部会報告」

部会長 榎本龍彌 (SA いけだ 平成 21 年)

福祉 IT 部会は、ボランティア活動としてウェブサイト (<http://fukushi2yume.web.fc2.com>) で大阪府内の授産施設の製品紹介を無償で行っています。

そのために、私たちは「福祉夢ひろば」のウェブサイトを運営し、インターネット環境が備わった大阪市立総合生涯学習センターのネットワーク・ラボで月 1 回の例会を持っています。今年度は 10 回開催しました。

「福祉夢ひろば」のサイトに掲載している授産施設は 2016 年 1 月末で 27 カ所、授産製品ショップは 4 店で、昨年末と比べ 1 施設増えました。さらに、障がいを持つ個人の方の作品を紹介するページも新たに開設し、1 件掲載しています。

サイトへの掲載に加え、各種イベント時にブースを確保し、授産製品の展示・販売も行っています。今年度は 10 月 18 日に万博公園で開催された「トラックフェスタ 2015」への参加を皮切りに、11 月 14、15 日にビッグ・アイで開催された「第 38 回障がい者作品展」、11 月 23 日に大阪市立総合生涯学習センターで開催された恒例の「総合フェスタ 2015」、2016 年 2 月 3 日に SAYAKA ホールで開催された「シニアの歌声広場ーみんなで歌おう楽しい日本の歌百選ー」、2016 年 2 月 23、24 日にメイシアターで開催された「高齢者大学同窓会連協第 8 回文化祭」、2016 年 3 月 2 日に北区民センターで開催された「アクティブシニアフェスタ 2016」で、私たちメンバーが授産製品の展示と販売の代行を行い、授産施設自身による出店と販売もしていただきました。年度初めの目標値 (4 つのイベントに参加) を 2 つ上回り、いずれもかなりの売上を達成し、施設の皆様に喜ばれました。

併せて、各イベントに多数の障がい者が参加して、販売の立会い、他の展示の見学と一般の方との交流を行い、さらに、昨年度に引き続き授産施設による制作体験教室 (今年度はビーズを使ったブレスレット作りとおしゃれハンガー作り) を実施し、障がい者の社会参加の推進を図ることもできました。

また、大阪市立総合生涯学習センター主催の「ネットワークサロン」で「簡単にできるブログ」と題して入門講座を開催 (2015 年 6 月) し、多くの方々に受講していただきました。残念なことに、福祉 IT 部会が運営している自らのブログは記事の更新ができませんでした。

これからもさらに活動を広げ、地域の多数の授産施設が参加されることを願っています。

福祉夢ひろばの展示ブース
(第 8 回文化祭)



ブレスレット作りの体験教室
(総合フェスタ 2015)



都市環境部会

「27年度 都市環境部会報告」

部会長 和佐 義顕 (SA いけだ 平成 19 年)

<エコップ部会> 部会員 6 名 顧問 1 名

1、「活動計画」 登録部会員 7 名 (1 名退会で現在 6 名) 顧問 1 名。

- ・ 定例会は、偶数月に計画、毎月は、服部緑地公園でのキッズファームプロジェクトの企画会議に参加。環境関連、防災関連設備等の見学会。啓発活動は、連協理事会でのプレゼン。

2、「活動実績」

*登録 部会員 6 名体制。

(大阪市 SA、SA はびきの、SA とよなか、SA 四条畷、いずみ SA、SA いけだ)

(まとめ) 環境関連の見学会、連協でのプレゼンは、未実施。それ以外は、下記実施済。

① 大阪府都市整備部との意見交換—— 6 月 22 日 の 1 回のみ終わる。

(主たる話題)

- ・ 大阪府の防災計画の概要 ; ハザードマップ、住民への周知は——? 等々。
- ・ 防災備蓄倉庫の管理 ⇒ 地区土木事務所 にて管理。(府内 3 か所)
- ・ 地下河川 の見学は——?

*途中で監査業務が入ったため、担当者の退席となり、当会の会議とした。

② 定例会議 —— 5/1 6/22 9/28 12/7 3/22 (計 5 回)

③ アドプトシンポジウム 参加—— 7/11 “アドプトの今と未来“

④ ⇒都市整備部 河川室 河川整備課 武井課長 と面談。見学の件等窓口紹介受ける。

⑤ キッズファームプロジェクト (服部緑地公園)

※5 回シリーズ; 5/30 (さつまいも、夏野菜の植え付け、ジャガイモ収穫)

7/25 (夏野菜の収穫)

8/22 (さつまいもの茎を食べてみよう)

9/26 (落花生の収穫)

10/31 (さつまいも収穫、やきいも体験); 修了式

⑥ 寝屋川流域 寝屋川南部地下河川 見学会 実施。

- ・ 日時; 平成 28 年 1 月 25 日 (月) 午後 1 時半~3 時
- ・ 場所; 南部地下河川 若江立坑 (第二寝屋川沿い、最寄駅 近鉄八戸ノ里)
- ・ 参加者; 19 名 (参加地区 SA ; 大阪市、羽曳野、守口、河内長野、和泉、池田)
- ・ 担当部署; 大阪府寝屋川水系改修工営所 工務課 企画防災グループ



地下スペース (内径 7m)



係員より説明



参加者一同

ブログ部会

「27年度 ブログ部会報告」

部会長（兼） 織田 武文（堺 SA 平成 23 年）

「組織の紹介はホームページで、活動の紹介はブログで」という考え方を基本として、府 SA 連協および各地区 SA のメッセージをタイムリーに、そしてビジュアルに提供するとともに、セキュリティの確保を行った。

◇2015 年度は次のような目的を持って活動をした。

【活動目的】

ブログを使って、府 SA 連協および各地区 SA の日常活動をタイムリーに、ビジュアルに、見やすく提供する。そのためのスキル向上を目指す。

【活動報告】

1. 上記活動目的を達成するために年度の前半は見やすい記事表記を求めてそれぞれの行っている記事の更新方法を出し合って学び合うことから始めて、取り入れていった。
 具体的には、活動予定表、提供された原稿を加工することによってくっきりとしたブログ記事を更新できるようになった。
 年度の後半からは、パソコン操作の誤操作を回避するために留意すべきことやブログサイト FC2 のマニュアルを再確認して日頃の更新作業がスムーズに進むように学ぶことに移った。
2. 毎回、の後半はエクササイズ課題を操作する時間に当てることができた。このことによって前半の学びが体験化できた。
3. 2015 年の年間更新数は 計 337 件（更新された地区 SA 13 地区）が見られ、地区、ブロックの取り組みはもとより SA 連協の行事がどこかの地区で紹介されているとみえる。
 ただ、地区によって更新度数に偏在が見られアクセス数においても同様の相関が見られることが今後の課題であろう。

【今後の課題】

- ・地区活動ブログを全地区に開設して活動の動向を発信できるように努める。
- ・記事の取材、投稿をブログ管理者に伝わるような仕組みを検討する。
- ・ SA 会員のグループや個人のブログ、ホームページ推奨して紹介できるようにしたいインターネット環境を持たない会員のために地区活動ブログと地区会報との連携（*活動ブログのペーパー版が会報に）が図れるように工夫する



HP管理部会「27 年度 HP管理部会報告」

部会長(兼) 織田 武文 (堺 SA 平成 23 年)

【活動目的】

- ・ 府 S A 連協の情報の交差点としてのホームページをめざす
- ・ ホームページの刷新を図る

上記活動目的を達成するために次の活動計画を立てた

【活動計画】

- ・ ホームページ掲載事項の監修並びにコンテンツの発掘
 - ・ 各地区 S A のホームページ (地区 S A の概要) の刷新
- このうち各地区 S A のホームページ (地区の概要) を随時更新したが、
- 1、各地区 S A のホームページ (地区概要) の刷新は、ページフォーマットを共通にすべく随時行ったが、未だ一部更新作業が滞っている。
 - 2、府 S A 連協の情報の交差点を目指したホームページのリニューアルについては、プロトタイプを試作にとどまった。
 - 3、理事会、部門会ならびに各部会の議事録は、随時更新を実施した。

【今後の課題】

大阪府 S A 連協の情報の交差点としてのホームページをめざすためにリニューアルを早急を実施する。

支援活動部会

「27 年度支援活動報告」

支援活動部長 (兼) 木場昭和子 (大阪市 SA 連協 平成 18 年)

○部会活動の活性化と、中央研修会、地区研修会を実施して、高齢者施設でのボランティア活動の推進を図ることを目的に部会活動を実施した。

1. 現在中央研修会には、地区 S A から推薦を受けた 30 名が参加して、次期リーダーを目指して頑張っている。中央研修会で認定を受けた 8 名の講師が地区研修会を開催して、ボランティア活動の出来る人材の育成に取り組み活性化させた。中央研修会に参加をしている人たちは、ほとんどのメンバーが高齢者施設で歌体操ボランティア活動を実施している。

- ・ 平成 27 年度は、高齢者施設 17 か所にて、434 名がボランティア活動を実施した。
- ・ 高齢者施設へお願いをして、アンケートを実施したがいずれの施設でも高い評価を頂いている。

2. もう 1 つ当部会には、活動を円滑に行う為の助成金獲得の任務がある。今年度は「WAM」の助成金は不採用になり、「大阪府地域福祉振興助成金」の交付を受けるのみとなった。中央研修会をどうするか。参加者と話し合い皆様からの協力金で持続出来ました。

歌体操フェスタ 2016 は、出演者 1 人 100 円負担して頂き、後は寄付金で開催することにした。フェスタが近づくにつれ寄付金が集まり、盛況の内に開催する事が出来ました。ご協力頂いた皆様方心よりお礼申し上げます。



高齢者施設でのボランティア活動

広報誌部会

「27年度 広報誌部会報告」

部会長 大川 正彦 (SA 藤井寺 平成18年)

- ・文書情報での対外、対内への情報発信 (情報誌・PRチラシ等で)
- ・SAファンづくり・地区SAの活性化推進、(情報誌・PRチラシ等で)

①広報誌発行

高大受講生と校友会を結び、受講生に配布して修了後の進路の参考としてもらうため共同機関紙「れいんぼー・絆」が、年4回発行されてきた。諸般の事情、特に受講生がこれを受け取ることが少ないとの事で、コストパフォーマンス (費用対効果) から見直し7月号で休刊となった。それに代わり、高大機関誌として発行されている「れいんぼー」の4又は5月号に新入生に向け歓迎と組織紹介の記事欄を、10月号に修了後の進路として、各会への入会勧誘の記事欄を設けることとなった。

②府SA連協広報誌「シルバー通信」の発行。

年1回の発行とし、会員全員に配布されるこの機関誌を通じ、前年度の活動報告と新年度の活動を知ってもらうものにしようとの編集方針のもとに、新体制が固まった6月に発行した。

③外部関連団体イベントにパネル展示参加、大阪府SA連協チラシ、地区SAチラシ等、配布SA連協PRに努めた。

- ・27年12月18日 吹田メシアターで開催された大阪府高齢者大学校の「高大祭」に参加 校友会ブースでのパネル展示を行った。
- ・28年3月2日 大阪市北区民ホールでの大阪アクティブシニア協会の「アクティブシニアフェスタ2016」に参加し、校友会ブースでのパネル展示と大阪府SA連協チラシ、地区SAのPRチラシの配布を行った。

④3月7日～3月10日の間に行われた高大SAコースの学習成果発表会では、府SA連協のチラシを配布し、地区の活動を紹介するなど行った。

府SA連協に直接入会されるのではなく、地区SAへの入会勧誘が第一となるのであるから地区SAのPRチラシ作成が推進されることが必要である。

⑤校友会、NPO 高大広報誌に大阪府SA連協からは、次のように寄稿した。

- ・れいんぼー・絆 15号(7月発行) 府SA連協紹介・地区中ブロックの紹介。(校友会)
- ・れいんぼー 31号(1月発行) 府SA連協紹介・地区南ブロックの紹介。(高大)
- ・れいんぼー 32号(3月発行) 府SA連協理事長から修了生への祝辞。(高大)
- ・れいんぼー 33号(4月発行) 府SA連協紹介・府SA22地区の紹介。(高大)



会 計

「27 年度大阪府 SA 連協 会計報告

会計 高林 光睦 (SA 四條畷 平成 20 年)

平成 27 年度 大阪府 SA 連協収支決算報告書

(期間：平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)

(単位：円)

	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	
	実績	実績	予算	実績
【収入の部】				
前年度繰越金	95,669	50,899	152,511	152,511
会費	177,200	180,400	180,000	178,600
雑収入	1,900	0	0	5,500
寄付	0	0	200	1,120
利息	37	31	35	39
歌体操部会会員会費	0	22,000	0	0
おもちゃ部会受講料	0	9,600	0	0
A T C おもちゃイベント	0	180,000	0	20,000
収入合計	274,806	442,930	332,746	357,770
【支出の部】				
活動費	24,000	20,000	20,000	35,000
負担金	32,290	32,216	32,000	33,432
事務費	57,704	45,416	60,000	58,421
研修費 歌体操部会	5,000	15,000	37,000	37,000
研修費 おもちゃ部会	21,000	23,000	16,600	16,600
福祉 I T 部会	18,000	13,600	13,600	12,600
広報プロダ研究部会	23,605	13,083	15,000	25,693
〃「シルバー通信」発行	18,418	0	35,000	30,948
〃「れいんぼー・絆」発行負担	16,890	9,744	15,000	16,192
〃高大等 P R 資料	7,000	16,558	10,000	0
〃校友会しおり負担	0	0	5,000	5,700
A T C おもちゃイベント経費		101,802		
予備費			15,000	0
支出合計	223,307	290,419	274,200	271,586
次年度繰越金	50,899	152,511	58,546	86,184
合計	274,806	442,930	332,746	357,770

以上のとおり本年度の会計決算を報告します。

平成 28 年 3 月 31 日

事務局長 森田 一夫 ㊟ 会計 高林光睦 ㊟

会計監査報告書

上記会計に関する帳簿、証拠書類、現金等につき厳正に監査致しました。

その結果、適正に的確に処理され正確であることを証し、ここに報告致します。

平成 28 年 4 月 1 日

会計監査 松本 勉 ㊟ 下田 英二 ㊟

28 年度活動計画

1. 活動方針 ～地区 S A の活性化への貢献活動～

理事長 笹原 義正 (SA 吹田 平成 22 年)

- (1) 各地区 S A の新規会員増と高齢化に対処するため、府 S A 連協としては地区 S A の活性化に寄与すべく一番重要な業務と位置づけ、取り組む。特に、理事会では情報交換と審議に注力して運営していきたい。
- (2) 行政機関・関係団体との関係強化を図る
高大、ONCC、区民カレッジの S A 養成講座生の全生徒の入会を図るべく取り組む。その為に積極的に意見具申や情報発信をしていく。また府高齢介護室との関係を強化する。
- (3) 新規取組について
府 S A 連協全 22 地区 S A が一堂に会しての芸能文化祭的な催しについて検討する。

2. 活動計画

(1) 定例会

事務局長 中島 英征 (SA 茨木 平成 19 年)

理事会	毎月 1 回 原則第 1 木曜日 13:00～15:00 開催
役員会	毎月 1 回 理事会日 15:00～17:00 開催
ブロック交流会	年 6 回 理事会日の奇数月の午前に開催
各部門会	年 6 回 理事会日の偶数月の午前に開催

(2) 部門会および部会

□ 渉外部

渉外部長 新鞍 清彦 (大阪市 S A 連協 平成 22 年)

【活動目的】

- ・行政機関 (大阪府、各市町) や外部関連団体と情報交換、各地区 S A の現状報告と友好関係を維持し、地区 S A と共に発展し活動の幅を広げる窓口として役割を担う。
- ・高大とは校友会の場を通しての交流しか行われてこなかったが、高大本体との連携を密にして友好関係を深める。

【活動計画】

- ・行政機関は、大阪府高齢介護室介護支援課地域支援グループを府連協(笹原、新鞍)が担当し、市町村については各地区 S A で担当し、必要のある場合は連協が支援する。
- ・外部関連団体は、次の 5 団体である。(担当)
 - 1) 高大・校友会：毎月第 1 水 13～15 時 高大(笹原) 校友会(笹原・新鞍)
 - 2) 区民カレッジ：不定期開催 (大阪市 S A 連協)
 - 3) ONCC：不定期開催 (笹原及び北ブロック地区 S A)
 - 4) NPO 法人 S A・ネット大阪：第 4 月の午前指導センター (笹原)
 - 5) NPO 法人大阪アクティブシニア協会：奇数月第 4 木の午後、教育会館 (笹原)

☆ 福祉 I T 部会

部会長 榎本龍彌 (SA いけだ 平成 21 年)

【活動目的】

I T 技術の利活用により、授産施設（障がい者のための福祉事業所）の認知度を高め、併せて授産施設で作られる授産製品の販売を支援する福祉ボランティア活動を行う。そのために、サイト「福祉夢ひろば」(<http://fukushi2yume.web.fc2.com>) を運営する。

【活動計画】

① 掲載授産施設／ショップの拡充と掲載ページの充実

- ・大阪府内の各地域の授産施設を広く掲載することを目指し、部会員／サポーター全員が近隣の授産施設／授産ショップを訪問して「福祉夢ひろば」の活動とサイトを紹介し「福祉夢ひろば」に掲載する授産施設／授産ショップを募る。
- ・掲載を希望する施設／ショップのページを作成し必要なリンクを設定し公開する。
- ・サイトのホームページ並びに施設掲載ページの更新を行い掲載情報の鮮度を保つ。

② 部会員／サポーターの活動能力のレベルアップ

- ・大阪市立総合生涯学習センターのネットワーク・ラボで例会を原則月 1 回開催し、福祉ボランティアの実践と IT 技術に関する相互研鑽を行う。

③ 各種イベントで授産製品の展示・販売を企画・実施

- ・大阪府内で開催される各種イベントに参加し「福祉夢ひろば」のサイトに掲載している授産施設の製品を展示・販売する。
- ・上記展示・販売に授産施設の利用者（障がい者）の方々の参加を呼びかけ、障がい者の社会参加の推進を図る。

④ 外部関係機関との連携と広報活動

- ・大阪市立総合生涯学習センター及びネットワーク・ラボ加入団体との連携を図るとともに、ラボ主催の大阪市民向け講座（ネットワークサロン）で「ブログ講座」を開催する。
- ・「福祉夢ひろば」のパンフレットを定期的に更新する。
- ・各種イベントで授産製品の展示・販売と併せて「福祉夢ひろば」の活動を紹介する。

☆ 都市環境部会（エコップ部会）

部会長 和佐 義顕 (SA いけだ 平成 19 年)

【活動目的】

私達の住んでいる地域の環境に目をやり、住みよい地域、幸せな地域づくりに、啓発活動を通して、貢献することを目的とする。

【活動計画】

- ① 定例会：大阪府都市整備部との意見交換会（5 月）を含み、年間 5 回開催。

- ② 行事：1) 第5回キッズファーム（5回）への参加協力（於・服部緑地公園）
⇒ 5/28 7/23 8/27 10/1 10/29 修了式（各土曜日）
2) 見学会；案件や日程等は、別途部会にて計画する。
①大阪府防災備蓄倉庫の見学⇒3か所中どこか1か所。
⇒防災備蓄倉庫（万博公園・八尾空港・りんくうたん）
②兵庫県 人と防災未来センター（最寄駅；阪神電車 岩屋駅）
③津波・高潮ステーション（最寄駅；市営地下鉄 阿波座駅）
④砂防施設「亀の瀬地すべり」（最寄駅；JR大和路線 河内堅上駅）
3) 講演会； 仮題「福島からの報告 ～避難地区からの移住～」
（語り部） 吉川 祐子さん（高大修了生・OASA）
*実施は、連協理事会終了後日時等別途。（1時間程度）主催；都市環境部会

<課題>

- 1) 部会員の増員⇒各地区SA等関心度に温度差があり、全体活動に繋がっていない現状。
- 2) ブロックでの対処可能な地域土木事務所との協働の検討⇒地区から地域への展開。

☆ 対外折衝部会

部会長(兼) 新鞍 清彦（大阪市SA連協 平成22年）

昭和63年SA講座1期生が始まり、修了生が平成元年に地区SAを立ち上げ、平成2年11月大阪府SA連協が発足した。

平成16年南部講座開設されるも、平成20年に知事交代により大阪府の運営による講座が終了した。その流れを絶やさぬため高大、ONCC、区民カレッジが順次開校した。しかし、その修了生が我々の仲間に入ることが少なくなっている。

府SA連協26年の経過を振り返るに先輩、先人のご努力、貢献により現在継続しているが、会員数の減少が深刻な問題になってきている。

会員資格をSA認定に限らず一般市民に開放しているが、高大修了生の獲得が優先して取り組むべき課題と考える。その方策として高大・ONCCと接触を密にして現状を理解に努めること。又この現状を大阪府担当者に提起し、SAコース認定の、SA称号認定の要件は何なのかを再確認し、会員獲得の途を作る必要がある。

対外折衝部会は、固定の部会員は置かないが新鞍部長が部会長を兼務し、対外折衝で情報得た物に対し全員の力を結集して取り組むことにするのでご協力をお願いします。

□交流活動部 活動計画

交流活動部長 木場 昭和子（大阪市SA連協 平成18年）

【活動目的】

交流活動部の組織力の強化を図るため、各地区SA相互の交流を活性化させる。その為に、助成金の獲得に努める。

【活動計画】

1. おもちゃ部会、歌体操部会、支援活動部会の勉強会、研修会を実施し、技術の向上を図る。

- ①歌体操部会は、毎月1回 第4(月)に開催する。
 - ②おもちゃ部会は偶数月(第2火曜日)に1回開催する。
 - ③おもちゃ教室は、奇数月(第3火曜日)に1回開催に参加する。
 - ④支援活動部会は(時期リーダー育成のため)毎月1回(第2木)に中央研修会を開催する。
2. おもちゃ部会、歌体操部会の(北、中、南)ブロック交流会を年1回開催する。
おもちゃ・歌体操ブロック交流会(北、中、南)は、各担当地区を決め、持ち回りで実施する。
 3. 全体の歌体操イベントとして「大阪府SA連協歌体操フェスタ2017」を3月頃開催予定。
大阪府内全域から、出演者を募集する。
 4. SA連協歌体操カーリンコンクラブのボランティア活動を開催する。

【SA連協の財政改善に寄与する】

- ・部会活動の一部を有料化する。
(おもちゃ部会費1回200円、歌体操100円、中央研修会1回500円)

☆ 歌体操部会

部会長 藤川 安高 (SA吹田 平成19年)

【活動目的】

歌体操の会議と研修実技を通して各地区の歌体操の技術の向上、普及、親睦を図っていき、更に中央研修会とも連携して活性化を図りたい。

【活動計画】

1. 部会は毎月1回 年12回 第4月曜 午前10時～12時
前半会議と後半実技の研修を行う。
2. 地域親睦と活性化を図る上でも各ブロックの交流会を年1回は実施する。
3. その集大成として大阪府下の歌体操仲間とSA連協歌体操フェスタ2017を3月に実施する。
4. 部会活動の運営費を負担するため一部を有料化する。
5. 他の行事、アクティブシニアフェスタの演芸部門等に部会として積極的に参加する。

☆ おもちゃ部会

部会長 島田 道子 (SA守口 平成14年)

【活動目的】

各地区の活動の活発化、情報共有を図るとともに親睦を深めたい。

【活動計画】

毎月1回実施案をおもちゃ部会で検討した結果、従来どうり隔月1回が適当と決まる。部会員の活動の実践場所を広げる。イベントなどに部会として参加できるようにしたい。
おもちゃ教室とも交流活動を活発化したい。

- I ; 開催 おもちゃ部会 偶数月 第2火曜日 PM 1:30~3:30
おもちゃ教室 奇数月 第3火曜日 PM 1:30~3:30
- II ; 会場 大阪社会福祉指導センター 地下1階
- III ; 副部会長 書記 会計を各ブロック代表で決定
- IV ; 講師 各ブロック (南 中 北) ごとに講師をお願いする
- V ; 会費 昨年度と同様に 1回 200円 徴収

☆ 支援活動部会

部会長(兼) 木場 昭和子 (大阪市 SA 連協 平成18年)

【活動目的】

- ・部会活動の活性化と、中央研修会、地区研修会を実施して高齢者施設へのボランティア活動の推進を図る。

【活動計画】

1. 部会活動を強化するため、助成金の獲得に努める。☆現在交付決定☆
2. 歌体操中央研修会を毎月1回開催して、地区研修会のできるリーダーを養成する。
 - ①支援活動部が講師と認定した方に対して、月1回講師謝金を支給する。
 - ②3ヶ月に1回位、外部講師をお招きして、研修会を開催する。
外部講師の研修会をビデオに録り、DVDにして希望者に頒布する。
 - ③ 高齢者施設ボランティア活動の実践。
(1施設3人まで月1回1人500円の謝金支給する。但しボランティア報告書提出が必要)
 - ・高齢者ボランティア活動の新規開拓を図る。
 - ・質の高いボランティア活動を目指す。
3. おもちゃ部会員のボランティア活動の実践場所を確保する。
4. SA連協歌体操カーリンコンクラブの練習場所を確保する。
高齢者施設でのボランティア活動を実施し、多方面へも拡大出来る様に努める。

□広報部

広報部長 織田 武文 (堺 SA 平成23年)

【活動目的】

- ・府SA連協と地区SAの架け橋となる広報活動を目指す。
- ・地域でのSA活動の知名度(認知度)の向上を目指す。
- ・ホームページ、ブログなどにより広域活動、助成金情報などの共有化をはかる。

【活動計画】

1. 広報誌「シルバー通信」の発行及びNPO 高大機関誌「れいんぼー」への寄稿協力
2. ホームページ・ブログ等のWeb情報を活用しタイムリーな広報活動を目指す。
3. 府SA連協ホームページのリニューアルを実施する。

☆ 広報誌部会

部会長 松本 勉 (SA 茨木 平成20年)

【活動目的】

- ・ 情報誌・PRチラシ等の文書情報での情報発信
- ・ SAファンづくり (情報誌・PRチラシ等)
- ・ 地区SAの活性化、先進活動の共有化 (PP, ネット等)

【活動計画】

- ・ 府SA連協「シルバー通信」(前年度報告、当年度計画)を年1回6月に発行する。
- ・ NPO 高大機関誌「れいんぼー」に校友会 (OB会) 員として年2回 寄稿する。
- ・ 府SA連協対外PRチラシ発行年2回。
 - ① 大阪アクティブシニア協会フェスティバル
 - ② 大阪府NPO 高大祭・交流会
- ・ 地区SAの活動実態を印刷物だけでなくPP (パワーポイント)、ネット等で紹介する。

☆ ブログ研究部会

部会長(兼) 織田 武文 (堺 SA 平成23年)

【活動目的】

ブログを使って、府SA連協および各地区SAの日常活動をタイムリーに、ビジュアルに、見やすく提供する。そのためのスキル向上を目指す。

【活動計画】

- ・ 地区活動ブログの定着化とスキル習得 (例会、勉強会) に努める。
- ・ SA会員のグループや個人のブログ、ホームページの紹介。
- ・ 地区活動ブログと地区会報との連携 (*活動ブログのペーパー版が会報に)。

☆ ホームページ管理部会

部会長(兼) 織田 武文 (堺 SA 平成23年)

【活動目的】

- ・ 府SA連協の情報の交差点としてのホームページを目指す。
- ・ アーカイブ文書の保管管理を行う。
- ・ ホームページの刷新を図る。

【活動計画】

- ・ 会員のホームページへの関心、ニーズの調査研究を図りさらなる充実を目指す。
- ・ 各地区SAのホームページ (地区SAの概要) を刷新する。
- ・ 情報収集を図る (助成金事業やイベント等の有用情報)。
- ・ 掲載記事を随時更新する。

大阪府 S A 連絡協議会平成 28 年度会計収支予算書

会計 高林 光睦 (SA 四條畷 平成 20 年)

(平成 28 年 4 月 1 日～29 年 3 月 31 日)

項 目	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	
	実 績	実 績	予 算	摘 要
(収入の部)				
前年度繰越金	50,899	152,511	86,184	
会費	180,400	178,600	176,000	200 円×880 名
雑収入	0	6,620	4,800	S A 富田林 27 年会費
利息	31	39	20	
歌体操会委員会費	22,000	0	0	
おもちゃ部会受講料	9,600	0	0	
A T C おもちゃイベント	180,000	20,000	0	
収入合計	442,930	357,770	267,004	
〈支出の部〉				
活動費	20,000	35,000	25,000	500 円×50 回/年
負担金	32,216	33,432	20,000	大阪ボランティア協会退会
事務費	45,416	58,421	52,000	
研修費 歌体操部会	15,000	37,000	15,000	5,000×3 ブロック
研修費 おもちゃ部会	23,000	16,600	15,000	5,000×3 ブロック
ブログ研究部会	13,083	25,693	10,000	会場費無料借用
福祉 I T 部会	13,600	12,600	12,600	会場費費用料負担
広報「シルバー通信」	0	30,948	35,000	年 1 回発行
広報「れいんぼー」	9,744	16,192	10,000	負担金
広報 高大他 P R 資料	16,558	5,700	10000	チラシ発行
A T C イベント経費	101,802	0	0	
予備費			20,000	
支出合計	290,419	271,586	224,600	
次年度繰越金	152,511	86,184	42,404	
合計	442,930	357,770	267,004	

地区SA・ニュース

「大阪府SA連協3ブロック地区SA・だより」

北ブロック＝SA高槻

SA高槻だより

27年度ブロック長 島貫 清司 (SA高槻 平成18年)

平成27年度のSA高槻活動を振り返ってみると、各地区SAと同様に、「歌体操」「クラフト」の活動は、衰えることなく更に活動要請が多くあります。

歌体操では、市行政が「健康体操」を奨励し、公民館、コミュニティセンター、地域自治会館などで活発に展開していますが、SA高槻独自で「市民向け高槻体操教室」を開き、市民に呼び掛けると定員を大きくオーバーする申し込みがあり、うれしい悲鳴を上げています。

また、福祉施設に居られる方や施設を利用される方々へ「寝たきりにならない、させない、つくらに」ために、歌体操の施設訪問依頼が多くあり、市内を駆け回って対応している状態です。

「クラフト」活動は、桜バザー、緑のカーニバル、平和展、健康フェア、丘のまつり、などなど毎年開催される数多くのイベントに参加し、手作り工作にて世代間交流を行っていますが、高齢化に伴って指導者不足に悩みが出てきています。

数年前より、福祉施設で囲碁の相手、子ども囲碁教室での囲碁指導をはじめ、マジックショーやオカリナ演奏の依頼も多くあり、これら分野のボランティア活動が増加してきています。

これらの活動の結果、「感謝状」や「礼状」を多くいただいています。

SA高槻(64名)27/4～28/2期間の活動結果

活動内容	活動総数	動員総数
歌体操活動	256回	782人
クラフト活動	108	524
国際交流活動	137	200
囲碁将棋の活動	206	266
福祉施設内支援	180	247
地域活動	143	217
スタッフ活動	103	147

「オカリナ演奏」



「市民歌体操教室」



「マジックショー」



中ブロック＝大阪市S A連協

大阪市S A連協だより

ブロック長 新鞍 清彦 (大阪市SA連協 平成22年)

大阪市SA連協所属の歌体操クラブの「輝くバラの会」の練習は月の第2水曜日と金曜日の2回北区の豊崎東会館で行われており、約50名の方々が参加され午後1時になれば参加の皆様が自主的に掲示板に貼られた歌の歌詞の通り合唱し、深呼吸・指体操行い童謡体操と手指・上肢・全身・下肢の準備体操を行い、休憩後「輝くバラの会」代表の梶山良子様のご指導のもと自由体操では皆様のびのびと歌体操の練習に励んでおられた、同じユニホームで集い、用意された練習プログラムの最後には全員輪になって「二人は若い」「今日の日はさようなら」で歌体操の3時間の練習をして終わった時は、皆様は大変良い顔をされていた。

歌体操のスローガンの一つに「寝たつきりにならない」「寝たつきりにさせない」「寝たつきりにしない」を目標に、月に10回の定例の大阪市立老人福祉センターを訪問や、それ以外に2～3カ所の施設訪問が予定に入るとの事、土日曜日以外ほとんど日時が施設訪問などに費やされている現状をまざまざとみて感心するやら、美しく、しなやかに歌体操されている方々の若々しさの原因を知らされたように思います。

今後も健康に注意され施設での歌体操を続けられることお祈り申し上げます。



豊崎東会館で練習



豊崎東会館で練習



豊崎東会館で練習



デイサービスでの歌体操



デイサービスでの歌体操



イベントでの歌体操

南ブロック=堺S A連協

堺S A連協だより

ブロック長 織田 武文 (堺SA 平成22年)

平成元年4月にシルバーアドバイザー第1期修了者、泉州地域有志によって立ち上げられたボランティア・グループ「シルバー交流会」はやがて平成12年4月に「大阪府シルバーアドバイザー連絡協議会泉北支部」から名称を「堺シルバーアドバイザー連絡協議会」と改めて堺市社会福祉協議会にボランティア登録を果たしました。現在はシルバーアドバイザー（以降 SAと略す）終了者に限らず高齢者大学校やそれに準ずる講座などの修了者に会員の構成を改めて多様な活動に対応するようにしている。会の名称も『堺SA』として登録しています。やがて30周年を迎えることとなります。

地区の集い、祭り、区民ふれあい祭り、福祉まつりそして 堺市ボランティア・市民活動フェスティバルなどに参加、出展して歌体操やおもちゃ作りでよろこばれています。

折り紙教室「四季折々」を年間開講して高度な折り紙に挑戦、リピーターに期待されています。また、保育園、幼稚園、小学校においておもちゃ作りを通じて世代間のふれあい活動を続けています。

2015年度はSA連協南ブロックおもちゃ作り交流会を主管して堺市総合社会館で開催することができました。交流会は堺市社会福祉協議会、さかいボランティア連絡会の後援を得てその模様は堺区さかいボランティア連絡会の広報紙に取り上げられました。

南ブロックの地区SAの協力を得られたことが成功につながりました。社会福祉協議会の紹介で2016年3月にオープンしたAEONの店舗で幸せの黄色いレシートキャンペーンに登録されることになりました。助成金いただけることはもとより、堺SAが一層認知されることになるだろうと楽しみにしています。



【広告のページ】



心とける場所



Longlife  Resort



憧れのリゾート地に魅力のセカンドハウスを。

広大な敷地にわずかな居室。自然と一体となりながら、プライベートな時間を満喫できる贅沢なリゾート。

ロングライフリゾートの最大の特長は、いずれの施設も広大な敷地に限られた室数という贅沢な設計である点です。

それは、プライバシーを保障することで、大自然と一体になる“心とける”感動を味わっていただきたいから。

また、アクセスに優れていることも大きなポイントです。国内だから味わえる、安心、安全、便利な極上のリゾート体験。

すべての方に心からおくつろぎいただけるよう、専門スタッフが最上級のおもてなしで皆様をお迎えいたします。

ロングライフリゾートメンバー募集中

添付のアンケートにご協力ください。抽選で5名様に、ロングライフグループオリジナル商品をプレゼントいたします。

(ロングライフダイニング(株)プロデュース「ロングライフカレー」4箱セット) ※当選発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。



<http://www.longlife-resort.jp/>

☎ 0120-140-142
 受付時間/9:00~18:00 365日受付



ロングライフグループは、ユネスコを支援しています。